

めぐニュース

かぐめよし少年自然の家だより 令和元年9月発行

かぐめよし少年自然には、ボランティアサークル『山女魚』があり、自然少年団などの主催事業に若い力を発揮していただいている。また、「棟梁」と呼ばれる80歳を超えた方が、一月に5~6回ふらっと来てくれる。元、北九州市の水道事業に携わっておられ、所内の水回りの補修や、屋外に設置する「流し」にはめっぽう詳しい。特筆すべきは、普通なら捨ててしまう部品や材料を利活用して、何でも修理する。「流し」も使用するのは、上部のシンクのみである。あとは、丈夫な足を木で組み、水道を引く。

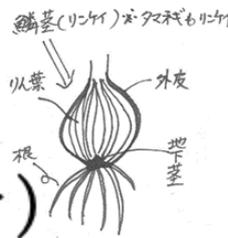
また、倉庫に眠っていた錆びだらけの大鎌から、大小の刃物を切り出す。柄には、棟梁一押し『樁』の木を使用する。山仕事の土産は、生の樁の木である。今も自然の家の軒先に20本程の樁が鎮座している。棟梁曰く、昔の刃物はきちんとした仕事をしとるから、物が違う。所員好みの刃物の注文が棟梁を忙しくする。

棟梁のかぐめよしにおける居場所は、「工作室」である。棟梁から叱責？の音が飛ぶ。「なんで使ったものは元に戻さんのか」「刃物を使ったら、すぐに油を引かんか」……。かつて、家族や町内には、このように温かい指導をしてくれていた方がいた。棟梁から色々な技術や知識、心を受け継ぎ、築47年を経過した自然の家ますます磨きをかけよう。

頂吉図鑑

~第18回~

彼岸花 (ヒガンバナ)



今回紹介するのは、秋の田を美しく彩る彼岸花(ヒガンバナ)です。曼殊沙華(マンジュシャゲ)の名としても有名です。曼殊沙華は赤い花という意味です。彼岸花がなぜ田の畔に植えられているのかご存じの方も多と思います。彼岸花の鱗茎(リンケイ)にはアルカロイドなどの毒が含まれていますのでモグラがよけて穴を掘らないといわれています。田の畔に穴があくと、水漏れするので困るのでモグラよけに植えたとされています。最近、新聞で読んだのですが、実際にモグラが彼岸花の鱗茎をよけることが実験で確かめられたそうです。また、この毒のある鱗茎には良質の澱粉があるため、飢饉の際には毒を取り除いて食べるための救飢植物として植えたともいわれています。

ところで皆さん彼岸花の葉を見たことがありますか。花は有名ですが葉は記憶がないという方が多いのではないのでしょうか。葉は花が終わってから顔を出し、3月ころに枯れます。そして秋のお彼岸になると忘れずに花を咲かすのです。

古く中国から渡ってきたといわれる彼岸花ですが日本の彼岸花は種が出来ません。だから人間が植えるか、鱗茎が水に流されたりして増えたのか。かぐめよしの川岸にも今年も忘れずに彼岸花が顔を出しました。



主催事業報告



春の福智山



子どもの日、天候もよく、全員で登頂することが出来ました！

景色の良い山頂でのお弁当は一段と美味しかったですね♪



かぐめふるさと交流



かぐめよし少年自然の家の周りに生えている孟宗竹を使って、どこよりも早い流しそうめんをしました。竹を割り、節をとったりして大変だったけど、美味しかったです。



紫川の最上流部であそびました！

紫川の最上

流部は水がとても冷たくて、気持ちよかったですね♪

紫川まるごと博物館



かぐめよし周辺に生息する『ホタル』について、生き物の専門家をお招きしてみんなで学びました。

ゲンジボタルが生息する場所で生き物探しを行い、夜は観察会を行いました。参加者からは「ホタルをこんなにたくさん見たことはありません!!」と喜びの声もありました。

これからもたくさんのホタルの見られる川であってほしいですね。

第2回かぐめよし自然少年団



梅雨に入り雨の心配もありましたが活動中は降らず、テントで寝たり川遊びが出来ました。

夜は、七夕の前日と

いうこともあり、孟宗竹を切ってきて、それに七夕飾りを各々作ったり、また、団員のみんなは願い事を短冊書いて飾り付けをしました。

みんなの願い事が叶うといいね！

水環境体感キャンプ

事前研修会 1泊2日、本番 3泊4日の水環境体感キャンプを行いました。

事前研修会では、水環境館で紫川に棲む生き物について学び、かぐめよしに移動してテントを張り本番を想定した動きを体験しました。

いよいよ本番が近づきますが、天候はあまり良くない予報が発表されていました。



本番当日。心配された天候もどうにか持ちこたえ、子どもたちも元気に集合しました。

初日のルートが今回の最難関でもあり、子どもたちはかなり苦戦した様子でした。苦しいだけではありません。隊長からそこに棲む生き物や、植物についても紹介がありました。みなさん覚えていらっしゃるでしょうか。

体感ではなく、【耐感】した子どもたち。乗り越えた先には必ずこれから役に立つ事があるはずです。

第3回かぐめよし自然少年団

今年のかぐめよし少年自然の家で、もじのMACと交流を深めました。1日目は、紫川の最上流部での川遊び、野外調理、試胆会で盛り上がり、2日目は、前日に各班ごとに仕掛けておいた罠を取りに行き、生き物観察をしました。



みんな、初めは普段一緒に活動をしなくて緊張していたけど、川遊びや野外調理、試胆会などをしていくうちに打ち解けていき、退所する時には仲良くなっていました。この交流で得た仲間との絆をこれからも大事にしてほしいです。

*7月14日(日)実施予定でした「親子でかぐめよしダムカヌー」は、かぐめよしダムの水量不足により中止となりました。

*9月21日(土)~22日(日)実施予定でした「家族でキャンプだホイ!」は、台風17号接近のため中止となりました。

主催事業のお知らせ



10月～2月

| | 事業名 | 時期 | 対象者・人数 |
|-----|---------------|------------------|-----------------------|
| 11月 | かぐめよし自然少年団 4回 | 11月9日(土)～10(日) | かぐめよし自然少年団に所属する団員 |
| | 市民センター職員等研修会 | 11月21日(木) | 市民センター職員 |
| | アウトドアギアを作ろう① | 11月24日(日) | 小・中学生とその保護者 定員：7家族 |
| 12月 | クリスマスリース作り | 12月1日(日) | 小・中学生とその保護者 定員：20名 |
| | ぺったんぺったんお餅つき | 12月14日(土)～15日(日) | 小・中学生とその保護者 定員：20名 |
| 1月 | かぐめよし自然少年団 5回 | 1月11日(土)～12日(日) | かぐめよし自然少年団に所属する団員 |
| | アウトドアギアを作ろう② | 1月19日(日) | 小・中学生とその保護者 定員：7家族 |
| | アウトドアギアを作ろう③ | 1月26日(日) | 小・中学生とその保護者 定員：7家族 |
| 2月 | みんなでだんらんラン! | 2月15日(土)～16日(日) | 家族 定員：7家族 |

主催事業の募集は全て市政だよりに掲載します。
応募は市政だよりをご覧になってお願い致します。



北九州市立かぐめよし少年自然の家

住所：〒803-0267

北九州市小倉南区大字頂吉451-1

電話：(093) 451-3111 fax：(093) 451-3133